

# 高梁川流域 キッズ

たかはしがわりゅういき

高梁川流域の

し て い ぶ ん か ざ い けん そ う ぶ つ

指定文化財(建造物)



場所

倉敷市西阿知町



時代

室町時代



指定年月日

大正14(1925)年  
4月24日



所有

遍照院



見学

見学可

へんじょういんさんじゅうのとう

## 遍照院三重塔

新高総早  
見梁社島  
市市市町

倉敷市

矢井浅里笠  
掛原口庄岡  
町市市町市



### この建造物について

遍照院は、真言宗の寺院で、寛和元(985)年に智空上人によって開かれたと伝えられています。

三重塔は、永享年間(1429~41)の再建と伝えられていましたが、昭和41~42年にかけて解体修理を行ったときに、応永23(1416)年の再建墨書が見つかったため、室町時代前期に再建されたことがわかりました。

この塔は、高さ約21mで、屋上に青銅製の相輪(装飾物のようなもの)があります。柱の先の彫刻のデザインなどから、室町時代前期の建築様式の特徴がよくうかがわれ、バランスのとれた形は美しく、国内有数の三重塔と言えます。